

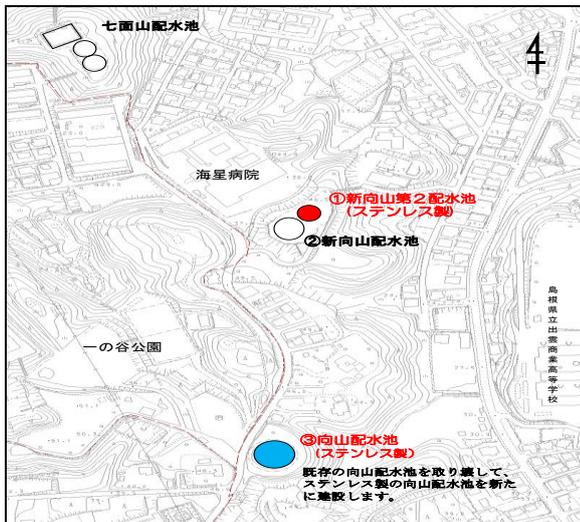
向山配水池等再構築事業について【進捗状況】

【事業の概要】

出雲市水道事業では、基幹的施設である配水池の老朽化・耐震化について、早急な対策が必要となったことから、本事業を実施することになりました。

本事業では、100年後の将来を見据えて検討を行った結果を基に、新向山第2配水池（ステンレス製）を築造し、既存の向山配水池を取り壊して、同じ場所に新たな向山配水池（ステンレス製）を建設する工事を進めています。

位置図



全体の完成予想図〔出雲市大津町(一の谷公園付近)〕



- ①新向山第2配水池(ステンレス製) (有効容量 3,300m³)
- ②新向山配水池 (有効容量 7,000m³)
- ③向山配水池(ステンレス製) (有効容量 9,000m³)

【工事の状況】

(1) 平成29年3月

新向山第2配水池(ステンレス製)が完成しました。(平成29年5月18日から供用開始をしています。)



新向山第2配水池(ステンレス製)の完成までの状況写真



(2) 現在の向山配水池を取り壊し、同じ場所に新たな向山配水池(ステンレス製)を建設します。



①平成29年6月 既存の向山配水池の状況写真





②平成29年9月 既存の向山配水池の取り壊しが終わり更地になりました。



③平成29年12月 更地になったところに、新たな向山配水池の土台（基礎）づくりのため、直径1.5m、延長18.5m～21.5mの杭を51本打ち込みました。



④平成30年2月 ステンレス製の配水池を建設する土台（基礎）ができました。これから配管やステンレス製のタンク（直径34m、高さ16m）を作っていきます。



⑤平成30年4月 水を浄水場から配水池に送る管(送水管)や、家庭に届けるための管(配水管)などを整備しました。



⑥平成30年 5月～10月 ステンレス製の材料を(6段)組上げて、配水池を作っていきます。有効容量は、9,000 m^3 になります。25m プール (25m \times 10m \times 1.5m=375 m^3) 24杯分です。



取壊し前の向山配水池（コンクリート製・昭和
48年建設）（有効容量10,000m³）



新たな向山配水池（ステンレス製）
（有効容量9,000m³）